



令和8年
6月号

消費者だより

電子レンジの使い方を 再チェックしよう！



電子レンジは忙しい毎日の食事づくりに欠かせない、便利な家電ですが、自己流で使うと思わぬトラブルにつながる可能性があります。

■ 事故事例

■ サツマイモをオートモードで加熱していたら、大量の白煙が発生した

■ ゆで卵を加熱したら、庫内で破裂し、底面のガラスプレートが割れた

■ 庫内の壁や天井に付着していた食品かすが加熱され発火した

■ インターネットで見た「便利な使い方」を真似したらスパークした

■ 消費者へのアドバイス

加熱時間の確認

食品を加熱しすぎると、発煙・発火の恐れがあります。特に殻や薄い皮膜で包まれている卵やウインナー、ぎんなんなどの食品は、レンジで加熱すると内部の圧力が高まり、破裂する危険があります。卵は割りほぐし、殻や薄皮があるものはむいてから加熱するなどの工夫が必要です。

庫内をこまめに掃除

庫内やドアに、吹きこぼれた食品かすなどの汚れが残ったまま使用すると、繰り返し加熱されて汚れが燃えるおそれがあります。

取扱説明書を事前に確認

アルミホイルや金属類は、電子レンジでは使用できません。インターネットの便利な情報は、すべての製品や状況に当てはまるとは限りません。

庫内で発煙・発火したときは

- ・扉を開けずに電源プラグを抜いて、電源を遮断してください。
- ・扉をしめたまま、慌てずに庫内の様子を確認しましょう。扉をあけると、酸素が流入し燃え広がる恐れがあります。
- ・火が消えない場合は、扉を閉めたまま消火器を準備しましょう。万が一、火災が発生した場合は119番に通報しましょう。

千代田区消費生活センター

TEL:03-5211-4314(相談専用)

月曜日～金曜日 9:00～16:30

(土日祝、年末年始除く)

分からないことがあれば、
消費生活センターに
ご相談ください。

